

## 転移性肝腫瘍に対する肝切除に関する多施設共同後向き観察研究

**1. 研究の対象：**2007年1月～2022年12月に当院で転移性肝腫瘍に対して肝切除手術を受けた方々を対象とします。

**2. 研究目的・方法：**大腸癌や神経内分泌腫瘍の転移先として最も多い臓器は肝臓ですが、2000年初頭から、転移性肝腫瘍に対する積極的な肝切除が行われ、予後の改善効果をもたらすことが知られるようになりました。さらに、ここ10年、分子標的薬を含めた薬物治療の進歩が見られ、さらに肝切除の治療効果が増強されることが示唆されています。当然ながら、2000年初頭以前と比べて、治療成績や手術適応は、変化していることが予想されますが、その詳細はいまだ不明です。

今回肝切除の手術基本手技や術式選択基準が同一である国立がん研究センター中央病院、日本赤十字社医療センター、公益財団法人がん研究会有明病院のハイボリュームセンターの経験を合わせ、解析します。その結果、転移性肝腫瘍に対する肝切除を中心とした治療の適切な適応基準や治療指針の確立が可能と考えられます。

研究実施期間：2028年12月31日まで

**3. 研究に用いる試料・情報の種類：**臨床所見（年齢、性別、身長、体重）・血液所見（血算、生化学：肝腎機能、肝予備能検査、腫瘍マーカー）・病理学的所見（免疫組織学的所見・背景肝の所見・RAS/BRAFがん遺伝子変異の所見）・治療（術式、周術期経過、周術期化学療法）・治療反応性・予後等

**4. 外部への試料・情報の提供：**3.項の情報について氏名、生年月日など直ちに個人が特定できる情報は研究用の番号に置き換えられて、研究代表機関である国立がん研究センター中央病院へ提供されます。

### 5. 研究組織

国立がん研究センター中央病院 高本健史（研究代表者・研究責任者） 奈良聡 伴大輔  
水井崇浩 江崎稔

日本赤十字医療センター 橋本拓哉（研究責任者） 島田恵

公益財団法人がん研究会 有明病院 高橋 祐（研究責任者） 井上陽介 伊藤寛倫 佐藤  
崇文 小野嘉大 大庭篤志 小林光助

**6. お問い合わせ先：**本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

第3版 2023年4月22日

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究への利用を拒否する場合の連絡先：

がん研有明病院 肝胆膵外科 高橋 祐

公益財団法人がん研究会 有明病院

〒135-8550 東京都江東区有明 3-8-31 電話：03-3520-0111(大代表)

研究責任者：がん研有明病院 肝胆膵外科 高橋 祐

研究全体に関するお問い合わせ先：

国立がん研究センター中央病院 肝胆膵外科 高本 健史

国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1 電話：03-3542-2511

研究代表者・研究責任者：国立がん研究センター中央病院 肝胆膵外科 高本 健史